

基本理念

常に患者さんをご家族の立場に立って考え、行動します。
そして、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張っています。

基本方針

- 1、信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため
職員の研鑽と協調に努めます
- 2、患者、家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、
生き甲斐がもてるようチーム医療を推進します
- 3、地域に根ざした、住民とともに歩む病院（施設）を
目指します
- 4、病院（施設）の質を高め、健全経営に努めます
- 5、職業を通して、社会人としての豊かな人間性を養います



信頼される医療・福祉を目指して

医療法人和同会 -五日市和同会-



交通アクセス

○自動車

西広島バイパス木舟交差点・波出石交差点から、
県道41号五日市・筒賀線を北に約10分
※当院駐車場空スペースをご利用ください

○バス

JR五日市駅より広電バス藤の木団地行(北口)・湯来ロッジ行
(南口)乗車、河内下城バス停より徒歩5分

〒731-5152 広島県広島市佐伯区五日市町下河内188-6
<http://www.gh.wadoukai.jp>

○広島グリーンヒル病院

○広島グリーンヒル病院介護医療院

TEL 082-929-1110 FAX 082-927-2225

○介護老人保健施設 五日市幸楽苑

TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225

○五日市幸楽苑 通所リハビリテーション

TEL 082-927-1611 FAX 082-927-2225

○訪問看護ステーション ハローナース五日市

TEL 082-927-0700 FAX 082-929-1114

○認知症対応型共同生活介護 グループホーム五日市

TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225

○居宅介護支援事業所 なごみ

TEL 082-929-0753 FAX 082-927-2229

五日市和同会だより

第57号

令和8年9月

発行：広島グリーンヒル病院
編集：広報委員会



Kumamoto castle Photo by shio

私たちは熊本を応援しています

令和8年熊本地震により大きな被害が発生いたしました。

犠牲となられた方々にご家族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された
皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

また、医療支援や復旧活動などにあたられている皆様にご深く敬意を表します。

まだまだ不安な日々が続いておりますが、被災地の皆様の安全と1日も早い復旧・復興を
心よりお祈り申し上げます。

ファン付きベスト導入で暑さ対策しています！



ただし、このベストは空調ファンの音が少々大きい
「静かな室内では利用者さんの話を遮ってしまうのでは
ないか・・・」という懸念や「自分たちだけが活用する
ことが申し訳ない」といったスタッフの本音もあるよう
です。しかし、質の高いケアを提供するために私たち
スタッフが万全の体調で利用者さんに向き合うことが
必要ですので、夏季において訪問先の屋内外で臨機
応変に活用し、利用者さんへのより良い対応につな
げたいと思っています。

訪問看護ステーション ハローナース五日市
管理者 正國明美



中学生が職場体験に来てくれました😊

当院は、毎年地元の中学生の社会学習の一環として「職場体験学習」の受け入れをしています。
今年も、市立美鈴が丘中学校から4名の生徒さんが職場体験学習に来てくれました。

病棟やりハビリ・薬局・栄養課など院内の様々な部署を見学しながら、車椅子の操作やベッドメイキング、手指衛生などを体験してもらいました。病院は医師、看護師だけではなく介護福祉士やりハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、放射線技師、事務職員等、多職種が力を合わせて患者さんを支えています。そんなチーム医療の様子を間近で感じてもらうことができました。

慢性期病院では、患者さんと長期間に渡りかわることが多く、治療だけでなくその人らしい生活を支えることも大切な役割です。患者さんに対して職員の優しい声かけや笑顔での対応に「思いやりって大事なんだな」と感じてくれた生徒さんもいたようです。

体験後には、「いろいろな職種が協力していることがわかりました」「ありがとうと言ってもらえてうれしかった」「医療の仕事に興味がわきました」といった感想が聞かれました。3日間という短い期間でしたが、学校では学べない貴重な経験ができたのではないのでしょうか。私たち職員にとっても、中学生の職場体験を通して自分たちの仕事について改めて向き合うよい機会となりました。

今回の職場体験学習が、生徒の皆さんにとって将来を考えるきっかけになれば嬉しく思います。そして、数年後に医療や介護の世界で一緒に働く仲間として再会できたら素敵ですね。
当院ではこれからも地域とのつながりを大切に、未来を担う子供たちの学びを応援していきます。

広島グリーンヒル病院
広島グリーンヒル病院介護医療院 副看護部長 丸亀郁子

職員の健康を守ることが、より良い医療につながる

近年、気候変動の影響により熱中症は屋外だけでなく、医療・介護現場においても重要な健康課題となっています。当院においても、患者さんへ安全で質の高い医療・介護を提供し続けるためには、まず職員一人ひとりが、健康で安心して働ける環境を整えることが不可欠であると考えています。

安全衛生管理委員会では、この一年間、職場環境の改善と健康管理体制の強化に積極的に取り組んできました。特に熱中症対策については、早期発見・早期対応の体制整備、対応手順の作成、報告ルートの明確化、職員への周知徹底を進めるとともに、WBGT（暑さ指数）測定器を導入し、現場の状況を「見える化」することでより実効性の高い対策を実施しています。入浴介助など熱中症リスクの高い業務についても、現場と連携しながら改善を重ねています。

また、職場巡視の強化や産業医との連携、健康診断・ストレスチェック、院内研修、予防接種の充実など、職員の心と身体の健康を支える取り組みも継続しています。課題を見つけるだけで終わらず、「どうすれば改善できるか」を考え、少しずつでも前へ進めることを大切に活動しています。

これからも安全衛生管理委員会は、労働災害のない職場づくりと健康経営の推進を目指し、職員が安心して働ける環境整備に努めてまいります。

「職員を守ることが、患者さんを守ることにつながる」

その思いを胸に、安全で働きやすい病院づくりに挑戦し続けます。



安全衛生管理委員会 衛生管理者・薬局長 益田和寛

栄養課発

7月のメニューの紹介

今年度も、七夕の行事食の日に食事アンケートを実施しました。食事は入院・入所生活の一番の楽しみであると考えています。そこで、患者さん・入所者さん・利用者さんを対象に食事についてのご意見を頂戴し、それを基にメニューや食材の検討を行っています。アンケート内容は集計を行い、栄養課職員全員で共有しています。

七夕
おしながき
いなり寿司
ふくさ寿司
そうめん汁
マカロニサラダ
デザート

Ⓜ食中毒についてⓂ

高温多湿の夏季は、カンピロバクターなどの細菌を原因とする食中毒が最も発生しやすい時期です。食中毒予防の3原則「つけない」「ふやさない」「やっつける」をモットーに栄養課全員で取り組んでいます。

つけない：丁寧な手洗いの徹底、調理場や調理器具は清潔に管理する

ふやさない：調理済みの食材は適切な温度で保管

やっつける：加熱調理は中心部まで十分に加熱する

